

平成26年8月7日

工賃検討部会 活動報告

報告者 水谷

1、工賃検討部会の活動目的

吹田市内の日中系事業所を中心として、利用者さんが行っている仕事（作業）の社会的
的位置づけの向上を目指しながら、対価として支払われる給料（工賃）があまりにも低
い現状を向上させることを目的とする

2、これまでの実績

①共同販売会の実施

各事業所単位で行う小さなイベントではなく、しっかりと売り上げが見込める機会
をつくりたいとの趣旨で、共同販売会として山田市場にあるイズミヤ千里店様に「吹
田ええもんフェスタ」の開催協力を依頼するところから始まり、現在3回目にむけ
て取組中。

②共同生産（共同受注）体制の確立

障がい者優先調達推進法が施行される中、吹田市内では **HAPPY&SMILE** を中心と
しながら、市内の事業所が連携を強化してきた。その中で、大口の受注に応えるた
めの生産体制が整っていない現状が課題として浮き彫りとなり、市内5事業所が箕
面のパティシエの監修を得ながら共同レシピ「すいたんのおやつ」を開発。
昨年の秋に販売開始後3000個を販売している。また、印刷を行う3事業所で、市役
所内の名刺印刷を請け負う生産体制の整備も進めてきた。

2、今年度の活動

今年度は、これまで実働的に一年の半分を占めていた「吹田ええもんフェスタ」を
HAPPY&SMILE の全面的な協力を得たことで、これまで計画立てて行えてこなか
った研究面に力を入れることができるようになった

①各事業所の報告及びディスカッション

各事業所の作業がどのような経緯で導入され、課題は何なのか、利用者の工賃は
どのように決められているのかなど、これまでよりもさらに踏み込んだ討論を始
めている

②「障がい者優先調達推進法」

障がい者優先調達推進法が施行されて、庁内でも優先調達推進委員会が立ち上
った中ではあるが、実際に効率的に制度ができてからの成果という点では、まだ
まだこれから進めていかなければならない課題。全国の実例なども参考に、少
しでも前進できるように研究を進めていきたい。また、推進体制の充実を図るた
めには、自立支援協議会からの後押しも期待したいところ。